

主な出来事

EVENT

2020年4～6月

	三重・愛知	全国・海外
4月	<ul style="list-style-type: none"> ●名古屋大学と岐阜大学を運営する「国立大学法人東海国立大学機構」が発足。運営を効率化し、予算や人員を教育・研究機能に重点配分。(4/1) ●四日市市は工場立地法で一定規模の工場に義務付ける敷地内の緑地確保義務を従来の15%以上から10%以上に引き下げる条例を施行。(4/1) ●国・三重県・中日本高速道路などで構成する新名神・東環開通効果検討会議は開通から1年経過した新名神・東海環状道の開通効果を発表。(4/7) 	<ul style="list-style-type: none"> ●1896年(明治29年)の制定以来、約120年ぶりに初めての実質的な見直しとなる改正債権法(民法の契約等に関する部分)が施行。(4/1) ●新型コロナ特措法に基づく緊急事態宣言が東京など7都府県に発令。(4/7)16日には全国に拡大し、13都道府県を特定警戒都道府県に位置付け。 ●新型コロナ感染拡大による需要急減や在庫増加等を背景にニューヨーク原油先物相場場で初のマイナス価格を記録。(4/20)
5月 フォーカス	<ul style="list-style-type: none"> ●三重・愛知・岐阜の知事が新型コロナ感染拡大防止に向けた共同メッセージを発表。全国解除まで3県間の不要不急の往来を控えるよう要請。(5/16) ●キオクシアHD(旧東芝メモリHD)はNAND型フラッシュメモリを生産する四日市工場で新製造棟の建設を開始。完成は2022年夏頃を予定。(5/27) ●三重とこわか国体で成年男子の軟式野球が開催される四日市市霞ヶ浦第3球場が完成し、記念式典を開催。(5/28) 	<ul style="list-style-type: none"> ●政府は新型コロナ特措法に基づく緊急事態宣言を39県で解除。(5/14)21日に大阪府など3府県、25日には残る東京都など5都道県も解除。 ●日本高野連は夏の甲子園大会と出場権を懸けた地方大会の中止を決定。夏の大会の中止は史上3度目となり、戦後では初。(5/20) ●中国の全人代(全国人民代表大会)第3回会議で香港に国家安全法を導入する方針を採択。反政府活動が禁止され一国二制度の危機に。(5/28)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ●三重県は観光レクリエーション入込客推計書等を発表。昨年、観光等での来県者は4,304万人、消費額は5,564億円と現行調査方式で過去最高。(6/2) ●将棋の藤井聡太七段(愛知県出身)が棋聖戦挑戦者となり史上最年少のタイトル挑戦者に。(6/4)23日には王位戦とのダブルタイトル挑戦が決定。 ●モビリティランドは10月に鈴鹿サーキットで開催を予定していたF1日本GPの中止を発表。新型コロナ感染拡大の防止等を踏まえた判断。(6/12) 	<ul style="list-style-type: none"> ●1月末に英国がEUを離脱したことを受けて、日英で通商交渉が開始。英国の移行期間が終わる2021年1月1日の新協定発効を目指す。(6/9) ●スーパーコンピュータの計算速度を競う世界ランキングで理化学研究所と富士通が手掛ける「富岳」が1位に。2011年「京」以来の日本勢1位。(6/23) ●JR東海社長と静岡県知事がリニア中央新幹線を巡る水資源問題で会談。知事より工事への同意を得られず、2027年開業の延期手続きへ。(6/26)

2020年7～9月の予定

	三重・愛知	全国・海外
7月 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車のシェアサイクルサービス「Charichari」が名古屋市で開始。コロナ禍での移動手段としても注目され、実施は福岡市に次ぐ2都市目。(7月中旬) ●赤福は新型コロナ感染防止のため5月から休止していた「朔日餅」の販売を8月に再開。整理券配布、来店時間指定等の対策を講じる。(8月) ●愛知県東郷町に「ららぽーと愛知東郷」がオープン。延床面積18.5万㎡、店舗数210店、駐車台数3,900台と愛知県中部エリア最大級の店舗に。(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ●マイナンバーカードとキャッシュレス決済を紐付け、消費者にマイナポイントを付与する事業が開始。消費喚起とマイナンバーカード普及が目的。(7/1) ●東京都江東区青梅に建設されていた「東京国際クルーズターミナル」は新型コロナの影響を受けて当初予定の7/14から9月以降へと開業を延期。 ●米国において8月中旬に民主党、8月下旬に共和党でそれぞれ全国大会が開催され、11月3日に予定される大統領選候補者を指名。

フォーカス

キオクシアHD(旧東芝メモリHD)が四日市工場で新製造棟建設を開始

キオクシアHDはNAND型フラッシュメモリを生産する四日市工場において、新たな製造棟となる第7製造棟の建設を5月27日より開始しました。

この製造棟では最先端3次元(3D)NAND型フラッシュメモリが生産される予定です。総投資額は最大3,000億円規模となる見込みで、2022年夏の完成を目指しています。

新型コロナウイルスの影響でスマートフォンの販売が減速する一方、動画配信サービスを支えるデータセンターや、在宅勤務の増加によるパソコン関連の需要が新たに増加することが見込まれるため、当初計画通りに増産投資が行われることになりました。